



- ごみは持ち帰りましょう ●町並みはみんなのもの、大切にしましょう
- 宿場内への車の乗り入れはご遠慮ください

(一社)塩尻市観光協会 奈良井宿観光案内所
TEL.0264-34-3160 FAX.0264-24-0024

- (一社)塩尻市観光協会 TEL.0263-54-2001 <http://www.tokimeguri.jp/>
- 奈良井宿観光協会 <http://www.naraijuku.com/>

奈良井宿までのアクセス

■ お車をご利用の場合

東京(高井戸) ——— 中央道 ——— 岡谷JCT ——— 中央道 約20分 ——— 伊那I.C 塩尻トンネル 奈良井
所要時間 約3時間

東京(練馬) ——— 関越道 約1時間30分 ——— 藤岡JCT ——— 上信越道 約1時間30分 ——— 更埴JCT ——— 長野道 約1時間 ——— 塩尻I.C ——— R19 約40分 ——— 奈良井
所要時間 約4時間30分

名古屋(小牧) ——— 中央道 約40分 ——— 中津川I.C ——— R19 約1時間30分 ——— 奈良井
所要時間 約2時間10分

■ 電車をご利用の場合

新宿 ——— 中央本線 約2時間40分(特急) ——— 塩尻 ——— 中央本線 約20分 ——— 奈良井
所要時間 約3時間

名古屋 ——— 中央本線 約1時間25分(特急) ——— 木曽福島 ——— 中央本線 約20分 ——— 奈良井
所要時間 約1時間45分

周辺観光案内



御岳ロープウェイ(木曽町)



赤沢自然休養林(上松町)



阿寺溪谷(大桑村)



松本城(松本市)



大王わさび農場(安曇野市)



高山祭(岐阜県高山市)



重要伝統的建造物群保存地区

中山道 奈良井宿

観光ガイドブック

奈良井宿観光協会 <http://www.naraijuku.com/>



日本遺産



NAKASENDO



奈良井宿保存のあゆみ

中山道の奈良井宿は、鳥居峠上り口にある鎮神社を京都側の端に、奈良井川沿いを緩やかに下りつつ約1^キにわたって町並みを形成する、日本最長の宿場です。

奈良井宿保存の経過としては、近世の民家として高い評価を受けた中村邸の宿場外移設問題を契機に、身近な歴史的資産の再確認と継承・維持を目的にした官民学連携による町並み保存運動が、他に先駆けて始まったのが昭和43年のこと。

その後、国の伝統的建造物群保存地区制度を受けて刊行された「町並み保存対策調査報告書」に基づいて保存条例(保存計画)が施行され、昭和53年に国から重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。この栄誉は、多くの人たちの奈良井の地域づくりにかける並々ならぬ熱意の記念碑ともいえるものです。

選定後も、平成元年に国土交通大臣表彰の「手づくり郷土賞」、平成17年に「手づくり郷土大賞」、平成19年に「美しい日本の歴史的風土百選」、平成21年に社団法人日本観光協会「花の観光地づくり大賞」受賞など景観を生かした地域づくりに懸ける思いを継続しています。

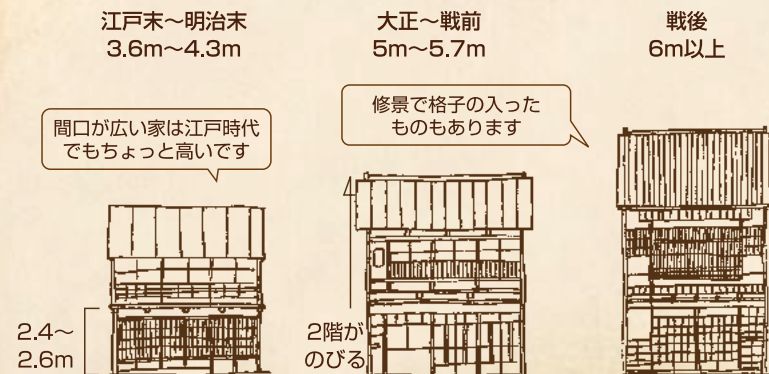
The beautiful Kiso road with its Narai-juku historic Post town

During the Edo era (1603-1868), the Nakasendo highway was one of the main routes linking Edo (the old name of Tokyo) and Kyoto. The eleven local villages from Niekawa-juku to Magome-juku on the route called Kisoji (Kiso road) are well-known sightseeing spots. Particularly in Narai-juku, the view of the old street in the area has been maintained and the houses, built using unique local techniques, are of historical and academic value. Visit this small village in the mountains and feel the atmosphere of old Japan!

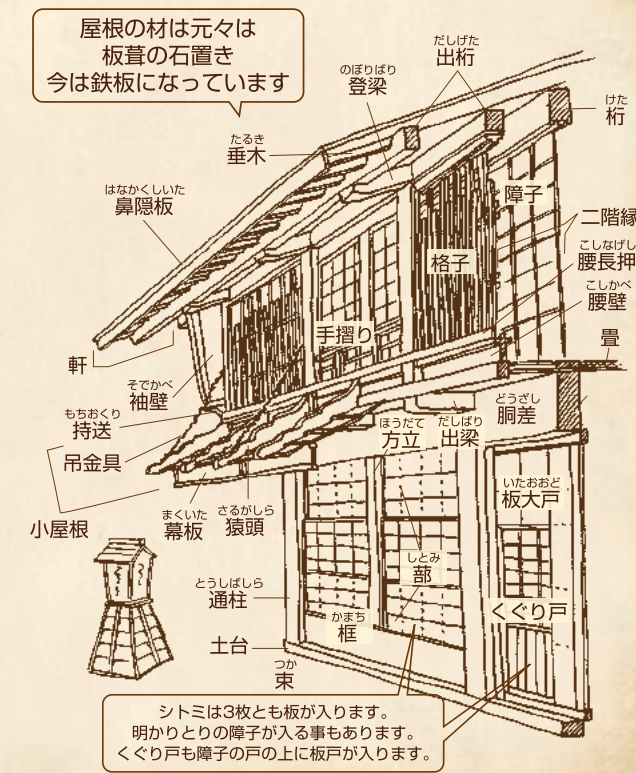
重要伝統的建造物群保存地区とは

文化財保護法の中に定められる、「伝統的建造物群保存地区制度」によって町並みが保存されている地区です。町並みとして保存していくため、保存地区内では、新築、増改築、修繕、色彩変更等、外観に影響する現状変更に関しては許可が必要です。また、伝統的な建築物はその特性を維持するため変更の際しての規制があり、新築に際しても周囲の町並みと調和するよう様々な基準が設けられています。

■ 軒高と建築年代



■ 町家の正面意匠と部分名称



奈良井宿散策マップ

1 橘川歴史民俗資料館 有料

島崎藤村が「初恋」に詩った花櫛の原形である塗櫓や、宿場で流通したお金の宿札など、往時の奈良井宿の“息遣い”が聞こえてきそうな民俗資料を展示しています。



2 鎮神社(しずめじんじや)

奈良井宿の鎮守。もともと鳥居峠に建立されていましたが、戦火で消失し、奈良井義高によって現在の場所に移されたといわれます。毎年8月12日には町内の若衆が笛・太鼓・三味線などのお囃子で町を練り歩く例祭が盛大にとり行われます。(市の無形民俗文化財)(本殿は市の有形文化財)



3 中村邸 有料

塗櫓の間屋を営んでいた中村家の住居で、天保年間(1830~1843)の建物。二階を少しせり出させる出梁(だしばり)づくり、鎧庇など、典型的な奈良井の民家の様式を残しています。(市の有形文化財)



4 おひさまロケ地

奈良井宿は、平成23年度連続テレビ小説「おひさま」の撮影地として使われました。宿場は約200m(鍵の手~鎮神社の間)にわたり大掛かりなセットが生まれ、昭和初期の町並みがそのまま再現されました。



5 浄龍寺

奈良井五ヶ寺のうち、最も南にある真宗大谷派の寺院。彫刻家石井鶴三はこの寺で藤村木彫像を制作しました。庭園も整備されています。



6 長泉寺

曹洞宗の寺院。徳川家光により始められた、宇治茶を江戸に運ぶ「お茶壺道中」の宿泊所として毎年使用されていました。



7 手塚家(上問屋史料館) 有料

慶長7(1602)年から明治時代に至るまで奈良井宿の間屋をつとめてきた手塚家住宅。古文書や道具類などの貴重な資料が展示されています。問屋特有のつくりになっています。(国の重要文化財)



8 徳利屋(原家住宅)

昭和初期まで旅籠として使われていた建物で、現在は資料館を併設した食事処となっています。(市の有形文化財)



9 大宝寺

天正10(1582)年、奈良井義高が自らの菩提寺として開いたのがはじまりとされる、臨済宗妙心寺派の寺院です。本堂裏には庭園も。



10 マリア地蔵 有料

昭和のはじめ、住民によって近隣の藪の中から発見されました。隠れキリシタンが密かに祈るために作ったものともいわれています。



11 法然寺

浄土宗の寺院。関ヶ原の合戦に向かう途中、徳川秀忠が一時滞在し、陣屋として使用したとの記録が残されています。



12 木曾の大橋

樹齢300年以上の木曾檜づくりで、橋脚のない橋として有数の大きさを誇ります。橋の下部の木組からは匠の技を垣間見ることができます。



13 専念寺

坂を少し上った場所にある、真宗大谷派の寺院。寺の入口にはその昔夜毎うなりをあげていたと伝えられる「うなり石」があります。



14 中山道杉並木

杉の巨木が十数本並ぶ古道。この道は中山道であった当時のもので、街道を行きかう旅人の姿が目に見え、浮かんできそうです。



15 二百地蔵

この周辺にあった観音様や地藏様の石仏が合わせまつられています。さまざまな表情が独特な雰囲気を感じさせています。



食

奈良井宿

地元の農産物を使った素朴ながらも味わい深いグルメ



そば

信州のなかでも木曽は古くからの屈指のそば処です。冷涼な気候と清らかな水にはぐくまれたそばは、コシとうま味があって風味豊かです。



五平餅

ゴマやクルミなどのタレを塗って焼いた五平餅は、甘さ控えめで抜群の香ばしさが食欲をそそる郷土料理。地域によって形もさまざまです。



おやき

こねた小麦粉を平らにして両面を焼いた昔ながらの郷土食。地元の野菜や、あずきあんなどの具が詰まっていて、懐かしい味わいが特徴です。

土産

奈良井宿

郷土の先人たちから受け継いだ技で生み出される名品



漆器

木曽漆器の起源は600年以上前といわれ、江戸時代には木曾ヒノキを使った漆器が旅人の土産品として人気を集めました。明治時代に入ってからマキヤ沢で発見された錆土により漆器産業が急速に発展。日本有数の産地として知られるようになりました。国指定伝統的工芸品です。



曲物

奈良井宿の名産品として知られる曲物は、木曽のヒノキやサワラの薄い板を特殊な技法で円形や楕円形などに曲げて作った器の総称です。木曾・奈良井宿での歴史も400年以上といわれ、人気の弁当箱はごはんが傷みにくく冷めてもおいしいと好評。

奈良井宿観光協会オフィシャルグッズ

切り絵作家 柳沢京子さんデザインの日本手ぬぐい・絵はがき・クリアファイル 宿場内にある観光協会員の店舗でお買い求めいただけます。



©(株)柳沢京子事務所 <http://www.kyoko-kirie.jp/>

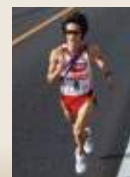
気分はすっかり江戸の旅人

鳥居峠をウォーキング



コラム

往時、木曽路を北から京都へ向かう旅人が難所の鳥居峠を前に体を休めた奈良井宿。それから長い時が流れ、鳥居峠もやすやすと越えていけそうな一人のランナーが奈良井から誕生しました。村澤明伸選手です。陸上をしていた兄2人の背を追って、橘川小学校時代から走りだし、指導者にも恵まれて着実にスピードアップ。宿場内やその周辺を黙々と走り込んでいた少年が今や日本長距離界の若手エースに。ここ奈良井に、そのルーツがあるのです。



木曽街道の数原宿と奈良井宿を結ぶ約6kmの山道。江戸の旅人にとって、わらじ履きの足を泣かせる中山道屈指の難所として有名でした。現代では趣き豊かなトレッキングコースとして人気。頂上から西に御嶽山、東に木曽駒ヶ岳を望むことができ、古道の途中には松尾芭蕉をはじめ俳人・歌人の句碑や石仏が数多く立っています。戦国の世は木曽氏・武田氏の戦場となり、江戸末期には皇女和宮が降嫁の旅で通過した歴史の峠です。

長野県の信濃路自然歩道
中山道ルートに指定されています



●木曽鳥居峠自然探勝園



※冬期(12月～3月)はトイレを閉鎖します